

薬理学・薬理学実習

【通年】集中
池田康将

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。
(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

- **Basic & Clinical Pharmacology (Basic and Clinical Pharmacology) (13TH) / Katzung, Bertram/ Masters, Susan B./ Trevor, Anthony McGraw-Hill 2015**

→ 米国医学部の薬理学教育に使用されている標準的な教科書。医学英語に親しむためにも是非この本で勉強して欲しい。

【491.5||Ba】
- **New 薬理学 改訂第 7 版 / 田中千賀子, 加藤隆一編 南江堂 2017**

→ 日本語の医学生用薬理学教科書の代表的な 1 冊。受容体や細胞内情報伝達機序などの生化学的薬理学の記載が優れている。

【491.5||Ne】
- **医科薬理学 / 遠藤政夫[ほか]編著 南山堂 2005**

→ 日本語の医学生用薬理学教科書の代表的な 1 冊。薬理学のほぼ全ての領域を網羅している。

【491.5||Ik】
- **新薬理学入門 改訂 3 版/ 柳沢輝行編著 ; 谷内一彦, 布木和夫, 助川淳著 南山堂 2008**

→ コンパクトにまとめてある日本語の医学生用薬理学教科書。

【491.5||Sh】
- **Goodman & Gilman's the pharmacological basis of therapeutics 12th ed. / Brunton, Laurence L., Ph. D. (EDT) Chabner, Bruce A. (EDT) Knollmann McGraw-Hill 2010**

→ 世界的な薬理学の教科書。医学生にとっては内容が豊富すぎるが、臨床医になる時には是非手元に持っていて欲しい。薬理学の勉強時や臨床業務時に、辞書的に活用できる。

【491.5||Go】
- **臨床薬理学 第 4 版 / 日本臨床薬理学会編 ; 中野重行 [ほか] 責任編集 医学書院 2017**

→ 臨床薬理学・治療学の考え方や臨床研究の進め方などをまとめている。

【491.5||Ri】